

入居企業紹介 その218

SICに入居されている企業様をご紹介します。

“ インバータのエキスパートとして、未来への貢献を果たす! ”



前列 左から4人目:林社長

後列 左から3人目:福本シニアエキスパート、左から2人目:富樫シニアエキスパート

【入居者プロフィール】

有限会社青山モータードライブテクノロジー
取締役社長 林 洋一(青山学院大学理工学部名誉教授)

インバータの第一人者である林先生(AMDT代表)が研究成果を実社会で役立てるための受け皿とするため、2006年(平成18年)に青山学院大学発ベンチャーとして有限会社青山モータードライブテクノロジー社(以下、AMDT)を設立。福本さんと富樫さんの2人が中国での事業展開を図るため2008年(平成20年)にAMDTに参画し、SICに入居しました。当時、中国はまだインバータ普及の黎明期で、空調機などの家電製品の開発から量産フェーズまでをカバーする仕事に、前職の仲間であった現地のパートナーと協力しながら取り組んでいたと、福本さんと富樫さんは当時を懐かしみながらお話してくださいました。

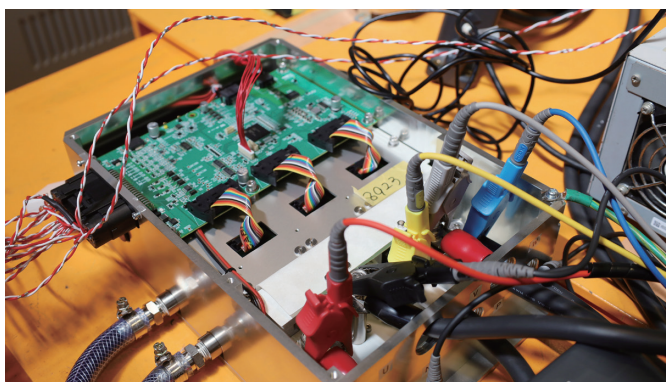
【AMDTの事業内容】

インバータはモータの回転速度を制御する装置で、高効率モータと組み合わせることにより負荷に応じた最適な回転数で制御することで消費電力を抑えます。AMDTにはモータ制御やインバータ回路の設計に通じるエキスパートが在籍。自動車、産業機械、家電、医療機器などのあらゆる分野のニーズに対応し、お客様と一体となって技術や製品を作り込みます。これまでに1,000件を超える開発に携り、AMDTが開発したインバータ技術が搭載されている白物家電(エアコン、冷蔵庫)は全世界で累計7,000万台以上にのぼります。今や生活や産業で欠かすことのできないモータ。エネルギー資源の有限性や気候変動が懸念され、一方でエネ

ルギー消費量は世界規模で増加する中、AMDTはインバータの先端テクノロジーで持続的な社会の実現を支えています。

【パワーエレクトロニクス産業の発展に向けて】

AMDTが現在手掛ける開発の約7割が自動車関連です。自動車のEV化が進む中、まさに“パワーエレクトロニクス”を牽引している分野で、AMDTは最適なソリューション提案力で多くの企業の製品開発をサポートしています。ほとんどの開発の推進に“スピード”が求められる中で、AMDTでは自社開発によるインバータをリリース。標準品をベースとして、お客様の要望に合わせてカスタムメイドすることで、開発のスピードアップを図ります。競争も激しいパワーエレクトロニクス分野で、ラインナップされた標準品が「事業モデル」を進化させ、AMDTの強みである最新の技術と知見が最大限に発揮されています。



標準インバータによるカスタムメイド

【さらなるイノベーションを目指す】

多くの開発案件から生まれる新たな知見がAMDTの成長を支えています。「家電から自動車へのシフトは、AMDTにとって大きなチャレンジでした。今、その成果が現れていますが、ここでとどまることなく、ベンチャーとして次のチャレンジを始める時期が来ています」と福本さんは語ります。SICで創業期から成長期を経て、さらなるイノベーションに挑むAMDT。これからも相模原の地から、産業の発展と環境調和を両立させ、人々の健全で豊かな生活の実現に貢献していきます。

有限会社青山モータードライブテクノロジー

SIC-3 Innovation Lab. 3116号室

URL: <https://www.amdt.co.jp/>

※ホームページ内にお問い合わせフォームがあります。



入居企業トピックス

8月の新聞掲載記事紹介(8月27日時点)

メディアに紹介された企業をご紹介します。

ご紹介する記事はSICに掲載していますので、ご覧ください。
またメディアに掲載された場合、スタッフに教えていただくと幸いです。

8月1日 株式会社食機能探索研究所 BABILON 週刊新潮
—患者扱い「あぶら」で長寿健康法—

8月9日 高瀬総合法律事務所 かながわ経済新聞
—会社法のキホンへ株主総会がなかったことになる?—

ボスマート設置しました!(菓子・軽食販売)

SIC-2の1階ロビーに新たに菓子や軽食を販売するボスマートを設置しました。

購入する際は、隣にある自動販売機で決済を行ってください。

ポテトチップスやチョコレートを増やして欲しいなどのご要望がございましたら、SICスタッフへお声がけください。

SIC-1の1階お菓子売り場は、在庫が終了次第、販売終了となります。永らくのご愛顧をいただきありがとうございました。



災害に対する備えのお願い

南海トラフ地震臨時情報や大規模な台風上陸など、気象庁や内閣府からの情報をご留意いただいているかと思います。万が一に備えてSICからの改めでのお願いとお知らせです。

- ・地震発生時や停電時はエレベーターが利用できません。屋内の階段・非常階段を使い、避難してください。
- ・エレベーター内のエレベーターチェアには、非常用のトイレ・食料・サイリウムが入っています。
- ・各企業様は万が一の備えとして、社員の方用に3日分の水や食料、防寒シート、簡易トイレの備蓄をお願いします。
- ・SIC-1にはAED、SIC-2には担架・車いす・毛布を備えています。

子どもアントレご協賛 ありがとうございました。



8月6日・9日～11日に開催した「さがみはら子どもアントレプレナー体験事業」は、47名の小学生が参加し無事終了しました。

多くの皆様からご協力、ご協賛いただきましたこと、あらためて御礼申し上げます。

編集後記

「会社設立当初は、10万円の設備を入れるのも相当悩んだ。」と福本さんと富樫さんは話され、今でも決裁の時には当時の思い出がよみがえるそうです。またかつては危険だった高電圧は技術進歩により、EV車などに使われることも時代の変化だと感じるそう。変わること、変わらないことについて考えたインタビューでした。(佐藤)

★ご意見・ご感想をお待ちしています。 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ:https://www.sic-sagamihara.jp
発行元:株式会社さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21 E-mail:koho@sic-sagamihara.jp

SIC空室情報 (令和6年9月1日 現在) ※お気軽に稲垣・大谷までお問合せください

部 屋	空 室 数	賃料/月額 (共益費・消費税込)
SIC-1 Startup Lab.	〇スモールオフィスB(13.7㎡) 2	70,620円

最新の情報はHPをご確認ください。

Sagamihara Innovation Gate パートナー企業募集しています。

相模原市内企業4社が新規事業開発のテーマを掲げ、新たなビジネス展開に向けた実証事業の取組に挑戦するべく共創パートナーを募集しています。詳細は以下からご確認ください。

応募要件	・プロダクトや技術を持ち、アイデアの事業化に取り組むことができる法人・チーム ・令和6年10月7日(月)・8日(火)開催の事業構築イベントに終日参加できる方
応募締切	令和6年9月11日(水)
詳細・応募方法	QRコードのサイトをご確認のうえ、エントリーフォームよりご応募・書類をご提出ください。 
問合せ先	相模原市環境経済局 創業支援・企業誘致推進課 (042-769-9253)

相模原市のSDGs 視察を受入れました。

7月24日「さがみはら SDGs パートナー」※向けの視察にて、SICの取り組みを紹介しました。

当日は弊社のSDGsの概要説明のほか除草作業など市内障害福祉サービス事業所様と連携して敷地内の環境整備や、生活に困窮する方たちが作った野菜の販売を視察されました。



※「さがみはら SDGs パートナー」とは、相模原市が、市とともにSDGsの達成や普及啓発に取り組む企業・団体を登録する制度です。